

令和2年度 東寺尾地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—	
◆ 事業計画	
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 担当地区連合である生麦第二地区は生麦、岸谷、東寺尾の3つの地域、13の自治会町内会からなり、岸谷と東寺尾は山坂が多い地形になっています。高齢化率は22.22%（2019年3月）と上昇傾向にあります。当地域包括センターで対応させて頂く総合相談も、介護保険や認知症についてのものが年々増えています。また、ひきこもり支援についても積極的に取り組んでおり、複雑化する課題や地域支援を5職種の専門性を生かしながら対応します。地域住民誰もが安心して地域でいつまでもいきいき生活できるよう、地域住民と一体となり地域包括ケアシステムの構築に努めていきます。	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
—具体的な取組内容—	
<input type="checkbox"/>	■
電話相談や出向いた先での相談を受けるほか、突然の来館相談にもできる限り対応できるよう、3職種が連携しながら相談受付体制を整えていく。	
<input type="checkbox"/>	■
地域の社会資源の情報収集に努め、ケアマネジメントに活用する方法を検討していく	
<input type="checkbox"/>	■
ケアマネジャーが利用者と地域とのかかわりをアセスメントする視点・地域包括支援ネットワークをケアプランに位置付ける方法を学べるように企画を行う。ケアマネジャーひとりひとりが包括的継続的ケアマネジメントを理解し、医療と介護と地域が一体となって包括ケアシステム構築を図る。	
<input type="checkbox"/>	■
担当圏域内の生活支援ボランティアグループの運営・後方支援を行う。	
<input type="checkbox"/>	■
パネルシアター等の親子向けの事業の開催や親子向けに地域ケアルームの開放を行い地域における子育てに関する情報の掲示や配架を実施しながら、ケアプラザでの赤ちゃん会や地域のふらっとる一むに参加し、子育て世代のニーズ・困りごとなどの調査を行う。	
◆ 事業報告・事業実績評価	
<input type="checkbox"/> 振り返り 緊急事態宣言中で講座が開催できない期間は積極的に地域を歩き、地域の情報収集を行い、身近で外出できる場所などケアプラザのブログで広く紹介しました。緊急事態宣言解除後は安心して活動が出来るよう、全ての貸館団体や地域サロン向けに新型コロナの正しい知識を学び自ら行う予防対策講座を実施、地域役員の方々と一緒にWeb会議体験会を行いました。地域住民による生活支援ボラ活動が継続出来るよう感染症対策の配慮など後方支援を行い、ケアマネ支援としては少人数・短時間で感染対策を図りながら、医療機関や居居支間で意見交換・情報収集できる場を提供しました。包括への相談が増え、3職種のいずれか必ず対応出来るよう訪問や外出の予定を共有し緊急訪問等対応しました。介護保険制度などの出張講座を開催した際には、民生委員等からの相談を受け付け対応しました。また消毒液やアクリル板設置など感染症予防対策の物品の整備を図り、来館者や職員の感染予防対策を徹底しました。	
<input type="checkbox"/> 区からのコメント 昨年度以前から、担当圏域の要望を捉えた独自性ある事業を展開できており、コロナ禍にあっても、感染予防対策講座やWeb会議体験会など、地域住民が新しい生活様式に適応するための取組を率先することができました。地域包括支援センターへの福祉・介護等相談も増加傾向のため、新たな価値提供を続けながら、平常サービスの維持に努めてください。 地域包括支援センター事業については、地域ケア会議や医療・介護連携等あらゆる場面でコミュニケーションや情報収集がタイムリーにできるようICTを活用した事業展開は素晴らしいです。また、認知症支援事業に関しても、的確なアセスメントによる最適なサービス提供ができており、次年度も引き続き本人・家族への効果的なアプローチと支援者間での円滑な連携を期待しています。 元気づくりステーションや地域サロンなど、コロナ禍における新しい生活様式に即した形での活動再開に向け、「出張講座」を積極的に実施した点は、他CPにおいても大変参考になりました。また、フレイル予防に関する記事を広報誌に連続掲載する他、コロナ禍においても安心して参加できる公園での体操やウォーキングを区と連携し企画・運営することができました。活動自粛におけるADLの低下や認知症の悪化が懸念される状況での取り組みは地域ニーズとも一致し、効果的なものとなりました。	

# 令和2年度東寺尾地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	相談者自らが選択できるよう、一覧や複数の資料を提示するなど情報提供環境を整えます。職員は公正・中立性を確保した事業所情報提供に努めます。公正・中立性を客観的に評価するため、利用者アンケートを実施し結果を振り返り業務改善に繋がります。	書庫の施錠・パソコンのロック・パスワード設定などで個人情報を適正に管理し、年度初めには全職員対象に個人情報保護に関する研修を実施します。月1回リスクマネジメント委員会で横浜市から送付される事故報告を確認し事故防止に努めます。
実績	利用者アンケートを実施、サービスの質の評価を行うと共に結果の振り返りから業務の見直しを行いました。アンケート結果はいつでも閲覧できるようにエントランスホールに配置しました。職員は常に中立公正を意識して業務に努めました。	個人情報を扱う業務のマニュアル化を図り、ダブルチェックなどの体制を徹底しました。リスクマネジメント活動では、事故報告を分析し職員間で原因を共有、事故防止に生かしました。事故報告書は全職員に回覧し事故防止への取り組みを徹底しました。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	自立支援の視点を重視し法令順守を念頭に介護予防支援および介護予防ケアマネジメントを実施します。	特定事業所加算制度の対象となる事業所として、公正中立性を確保し、質の高いケアマネジメントを提供できるよう努めていきます。
利用料金・実費負担		
職員体制	包括支援センター職員3名 (看護師・主任ケアマネジャー・社会福祉士)	管理者(常勤):主任介護支援専門員 1名 職員(常勤) :介護支援専門員 2名
契約者数	【契約者数】 153名	【契約者数】 96名

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	多職種連携によるサービス提供を意識して個別機能訓練やレクリエーションに活かします。また、ご利用者が自主的に取り組む活動を増やします。	意思及び人格を尊重し、利用者の立場に添ったサービス提供に努めます。レクや機能訓練を活かし心身機能の維持と活動の機会を増やします。	
実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30~16:30 【定員】 35名	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30~16:30 【定員】 12名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金/実費負担	食費 810円	食費 810円	
職員体制	相談員:常勤5(管理者、介護職兼務含む)、看護師:常勤2、非常勤2、介護職:常勤9(相談員兼務含む)、非常勤8、機能訓練指導員:常勤2(看護師兼務含む)、非常勤3	相談員:常勤2(管理者、介護職兼務含む)、看護師:常勤1 介護職:常勤2(相談員兼務含む)、非常勤2、機能訓練指導員:常勤1(看護師兼務含む)	
契約者数等	【延べ利用者数】 9,423名 【契約者数】 93名	【延べ利用者数】 1,074名 【契約者数】 8名	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「横浜市東寺尾地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,579,060	100,000	15,679,060	15,679,060	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	250,000		250,000	25,700	224,300	
雑入	15,000	0	15,000	4,740	10,260	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	15,000		15,000	4,740	10,260	
その他			0		0	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）	3,587,500		3,587,500		3,587,500	
その他（提案時控除 法人負担分）	2,974,200		2,974,200		2,974,200	
収入合計	19,431,560	100,000	19,531,560	15,709,500	3,822,060	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,168,000	0	11,168,000	9,895,403	1,272,597	
本俸	7,900,000		7,900,000	6,755,538	1,144,462	
社会保険料	1,200,000		1,200,000	1,298,196	△ 98,196	
手当計	1,900,000		1,900,000	1,667,229	232,771	
健康診断費	18,000		18,000	30,226	△ 12,226	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他	150,000		150,000	144,214	5,786	
事務費	830,000	0	830,000	1,687,009	△ 857,009	
旅費	30,000		30,000	8,860	21,140	
消耗品費	400,000		400,000	514,929	△ 114,929	
会議ठी費			0	0	0	
印刷製本費	150,000		150,000	119,679	30,321	
通信費	150,000		150,000	140,304	9,696	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0	144,100	△ 144,100	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0	947	△ 947	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	100,000		100,000	758,190	△ 658,190	
事業費	392,000	0	392,000	74,500	317,500	
運営協議会経費	42,000		42,000	19,294	22,706	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	350,000		350,000	55,206	294,794	
その他			0		0	
管理費	4,007,000	0	4,007,000	3,724,236	282,764	
光熱水費	750,000		750,000	482,577	267,423	
清掃費	1,600,000		1,600,000	1,674,918	△ 74,918	
機械警備費	185,000		185,000	204,389	△ 19,389	
設備保全費	842,000	0	842,000	731,666	110,334	
空調衛生設備保守	460,000		460,000	20,926	439,074	
消防設備保守	40,000		40,000	39,418	582	
電気設備保守	78,000		78,000	40,635	37,365	
害虫駆除清掃保守	24,000		24,000	35,039	△ 11,039	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	240,000		240,000	595,648	△ 355,648	
共益費			0	0	0	
その他	630,000		630,000	630,686	△ 686	
修繕費	474,000		474,000	471,607	2,393	予算：指定額
公租公課	1,164,000	0	1,164,000	0	1,164,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,164,000		1,164,000		1,164,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	18,035,000	0	18,035,000	15,852,755	2,182,245	
差引	1,396,560	100,000	1,496,560	△ 143,255	1,639,815	

自主事業費 収入	250,000	0	250,000	25,700	224,300	
自主事業費 支出	350,000	0	350,000	55,206	294,794	
自主事業 収支	△ 100,000	0	△ 100,000	△ 29,506	977,803	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	15,000	0	15,000	4,740	10,260	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	15,000	0	15,000	4,740	△ 12,226	

\*各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和2年度「横浜市東寺尾地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,500,426		23,500,426	23,500,426	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	90,000		90,000	25,300	64,700	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	5,000		5,000	0	5,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	15,000		10,000	30,800	△ 20,800	
雑入	15,000	0	15,000	4,739	10,261	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	15,000		15,000	4,739	10,261	
その他			0		0	
その他	10,000		10,000		10,000	
収入合計	29,584,426	0	29,584,426	29,510,265	74,161	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,720,000	0	22,720,000	21,050,943	1,669,057	
本俸	12,000,000		12,000,000	12,151,954	△ 151,954	
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,750,805	249,195	
手当計	7,300,000		7,300,000	5,722,844	1,577,156	
健康診断費	20,000		20,000	24,078	△ 4,078	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他	400,000		400,000	401,262	△ 1,262	
事務費	555,000	0	555,000	1,781,599	△ 1,226,599	
旅費	95,000		95,000	49,530	45,470	
消耗品費	50,000		50,000	366,119	△ 316,119	
会議ठीい費			0	0	0	
印刷製本費	150,000		150,000	119,680	30,320	
通信費	150,000		150,000	134,592	15,408	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0	303,600	△ 303,600	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	10,000		10,000	7,143	2,857	
振込手数料			0	1,110	△ 1,110	
リース料			0	0	0	
手数料			0	38,830	△ 38,830	
地域協力費			0	0	0	
その他	100,000		100,000	760,995	△ 660,995	
事業費	1,324,000	0	1,324,000	829,235	494,765	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	240,000		240,000	78,309	161,691	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	107,522	46,478	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	139,404	160,596	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,066,000	0	1,066,000	989,981	76,019	
光熱水費	200,000		200,000	128,279	71,721	
清掃費	420,000		420,000	445,231	△ 25,231	
機械警備費	50,000		50,000	54,331	△ 4,331	
設備保全費	226,000	0	226,000	194,490	31,510	
空調衛生設備保守	125,000		125,000	5,562	119,438	
消防設備保守	10,000		10,000	10,478	△ 478	
電気設備保守	20,000		20,000	10,801	9,199	
害虫駆除清掃保守	6,000		6,000	9,313	△ 3,313	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	65,000		65,000	158,336	△ 93,336	
共益費	170,000		170,000	0	170,000	
その他			0	167,650	△ 167,650	
修繕費	126,000		126,000	125,363	637	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	25,791,000	0	25,791,000	24,777,121	1,013,879	
差引	3,793,426	0	3,793,426	4,733,144	△ 939,718	

自主事業費 収入	110,000	0	110,000	56,100	53,900	
自主事業費 支出	694,000	0	694,000	325,235	368,765	
自主事業 収支	△ 584,000	0	△ 584,000	△ 269,135	△ 314,865	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	15,000	0	15,000	4,739	19,739	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	15,000	0	15,000	4,739	19,739	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市東寺尾地域ケアプ:

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				3,720	4,486	-766	18,480	19,336	-856	95,107	100,865	-5,758	3,937	3,858	79
	その他	0	0	0	0	0	0	1,620	1,931	-311	360	0	360	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	3,720	4,486	-766	20,100	21,267	-1,167	95,467	100,865	-5,398	3,937	3,858	79
支出	人件費			0			0	16,224	15,007	1,217	83,784	74,935	8,849			0
	事務費			0			0	1,668	450	1,218	13,800	6,961	6,839			0
	事業費			0			0	516	718	-202	9,720	9,256	464			0
	管理費			0			0	1,320	3,479	-2,159	5,400	12,048	-6,648			0
	その他			0	3,200		3,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	3,200		3,200			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	3,200	0	3,200	19,728	19,654	74	112,704	103,200	9,504	0	0	0
	収支 (A)-(B)	0	0	0	520	4,486	-3,966	372	1,613	-1,241	-17,237	-2,335	-14,902	3,937	3,858	79

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1: 地域活動交流事業    2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業    4: 共催(1と2)    5: 共催(1と3) 6: 共催(2と3)    7: 共催(1と2と3)		<b>■ 事業の性質</b> 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1: 高齢者    2: 障害児・者    3: 養育者 及び乳幼児 4: 子ども・青少年    5: 地域    6: 事業者 7: その他
--	--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	令和2年度前期令和会	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	男の地域デビュー講座が終了し受講メンバーでOB会を終り自主グループとして活動が開始した。自分達で企画を行い定期的に活動していく。	1: 高齢者		月1回担当を決めそのメンバーを中心に企画を実施する。4月～5月は新型コロナウイルス感染症により企画が中止となった。	1	8
2	令和2年度第1コースひがし脳トレ学習教室	平成20年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	・仲間づくりができる。 ・脳の活性化ができる。 ・外出機会が提供できる。 (閉じこもり予防)	1: 高齢者		・レクリエーションや調理実習を通して仲間と一緒に認知症予防に取り組み茶話会を行う。 ・介護予防地域ボランティアの協力を得て行う。 ・随時、参加者を募集し地域に開かれた教室とする。	2	20
3	お茶飲み会	平成13年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	趣味活動や新しいことへの挑戦、仲間との出会いを通して、心と身体の活性化と生きがいづくり、外出支援(閉じこもり予防)を図る。	1: 高齢者		毎月第3水曜日 10:00～12:00 前半は体操や手芸、音楽鑑賞、後半はお茶を飲みながら相談	7	78
4	せせらぎ定例会	平成18年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢者宅の介護保険の隙間を埋めるボランティアグループ。地域の中での助け合いを深める。このグループが各地域に出てネットワークができることを目指す。	1: 高齢者		毎月第2月曜日 10:30～12:00 定例会にて活動報告と情報交換 8月は猛暑の為お休み	5	38
5	東寺尾商品開発部	平成20年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	商品づくりを通してやりがい、生き甲斐を持ち、仲間同士の交流を図る。	1: 高齢者		使わなくなった着物や帯・毛糸を使用し、エプロン・ブラウス・帽子など、製品として完成させる。	9	54
6	ポッチャ交流会	平成19年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の友達をはじめ、障害のある方々、誰でも参加でき、身近な場所にて、気軽にどきどきスポーツの体験してもらえ、ルールを理解し、プレイの楽しさを深く感じてもらえ、チームワークの必要性から気持ちのつながりを体験してもらえ。	1: 高齢者	5	さわやかスポーツ普及委員の指導の元に人数に合わせてポッチャゲームをする。	14	232
7	夕暮れ大家族	平成23年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	「集まった人たちがその日の家族」をテーマにして、地域のゆるやかなつながりを作る。	5: 地域		1 夕飯を作り一緒に食べることを通して自然な交流を図る。	6	32
8	くりんくらのパネルシアター	平成27年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	親子の居場所作り。仲間作りと交流。	3: 養育者及び乳幼児		くりんくらんさんによる手遊び・パネルシアター・指人形・絵本を親子で楽しんでもらう機会を提供する。	4	51
9	親子向けお部屋開放	平成17年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	親子の居場所づくり。仲間づくりと交流。情報発信。	3: 養育者及び乳幼児		月曜～金曜 9:30～16:30 おもちゃ等を置き、出入り自由で過ごしてもらえ。利用者がいる時に催しの宣伝をしたり、ニーズ調査をする。	0	0
10	ガーデニング	平成15年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	引きこもりがちな高齢者に好きな草花を通して、地域や同じ趣味をもつ方々との交流の場を作る	1: 高齢者		毎月第2・4水曜日 10:00～12:00 (8月お休み)ガーデニングが大好きな方をボランティア募集し、ケアプラザの花や庭木等を手入れしていただく、終了後ティータイムを設けおしゃべりを楽しんだり情報交換をしたりと交流を図る	9	44
11	クラフトクラブ	令和2年度	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	コロナ禍における興味を持って外出できるような企画を実施し、閉じこもり予防・うつ予防・手先を使って作り認知症予防を図る	5: 地域	1	物品の共有をせず、アクリル板を使用して密にならず、コロナ禍でも安心して参加できる方法で実施。9月30日 ハーバリウム 10月30日 折り紙でつくるローズボックス 11月24日 アイロンビーズでクリスマスガーランド 12月22日 ポチ袋 はし袋 はしおき	7	73
12	協力医との座談会	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	医師とケアマネジャーの交流の場を提供し、医療と介護の連携が円滑に図れるようにする。	6: 事業者		7月31日 14:00～14:40 ケアプラザ協力医と委託先居介支にて、テーマを設けず交流の場を提供。主に、コロナ禍での対策や動向を情報共有。	1	6
13	出張講座(ワークしたすけあいつるみ)	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	訪問介護事業所職員に対して、地域ケアプラザ及び地域包括支援センターの周知、高齢者虐待防止のために、虐待の種類や気づきの視点を理解してもらえ。	6: 事業者		9月12日(土) 10:00～11:30 パワーポイント資料を使った講義形式。鶴見区地域ケアプラザ社会福祉士連絡会発行の『みんなで防ごう！高齢者虐待防止ガイド』をベースに高齢者虐待の種類や気づきの視点について説明した。	1	15
14	令和2年度後期令和会	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	男の地域デビュー講座が終了し受講メンバーでOB会を終り自主グループとして活動が開始した。自分達で企画を行い定期的に活動していく。	1: 高齢者		月1回担当を決めそのメンバーを中心に企画を実施する。当面はCPIにて茶話会形式で近況報告などを行うこととなった。	1	5
15	令和2年度第2コースひがし脳トレ学習教室	平成20年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	・仲間づくりができる。 ・脳の活性化ができる。 ・外出機会が提供できる。 (閉じこもり予防)	1: 高齢者		・レクリエーションや調理実習を通して仲間と一緒に認知症予防に取り組み茶話会を行う。 ・介護予防地域ボランティアの協力を得て行う。 ・随時、参加者を募集し地域に開かれた教室とする。	5	42
16	地域と共に創る新しい生活様式	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染症がまん延し人との関わり方などの変化が求められている。世の中で推奨されているWEB会議を地域の役員さんと体験することでこれからの活動について考える機会を作る。	5: 地域		地区社協役員・連合会長にWEB会議を体験していただき新しい生活様式について検討する。区役所、区社協へも参加を呼びかけ状況を共有する。	1	12
17	地域活動を楽しく再開	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	保健活動推進員より体操教室や居場所を再開するために必要なことを教えて欲しいと依頼があったため。	5: 地域		新しい生活様式を学ぶ。学んだ感染症対策を基に体操教室・居場所を行うために必要なテーブルやいすの配置を検討する。使用した物品の片付けを行う。	1	8
18	第2回地域活動を楽しく再開	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	保健活動推進員より体操教室や居場所を再開するために必要なことを教えて欲しいと依頼があったため。	5: 地域		新しい生活様式を学ぶ。学んだ感染症対策を基に体操教室・居場所を行うために必要なテーブルやいすの配置を検討する。使用した物品の片付けを行う。	1	10



